

市長としゃべらんで

地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長

「市長としゃべらんで」第18回目の今回は、新たに着任した「地域おこし協力隊員」と原井市長とのトークセッションの模様をお伝えします。



地域おこし協力隊になろうと思った理由

市長 まずは、それぞれの地域おこし協力隊の志望動機と自己紹介についてお聞きしたいと思います。では、林さんからお願いします。

林 私は元々、林業に興味があり、吉野川市の地域おこし協力隊の林業に携わる募集を見て応募しました。また、現在交際している方が徳島に住んでおり、移住も視野に入れていたところだったので、ちょうど自分のやりたいことと一致したことが大きな決め手です。出身は京都府宇治市で、これまでに山小屋での仕事や、愛媛のみかん畑での収穫作業の経験もあります。自然や山に囲まれた生活が好きで、山林で働きたいという思いが以前から強く、今回の応募に繋がりました。

市長 なるほど。自然が好きで、林業にも熱意を持ってもらえるのですね。さまざまな経験が吉野川市でも生かされそうですね。次は櫻庭さん、お願いします。





原井 敬 市長



さくらば けんいち
櫻庭 健一 さん

阿波手漉和紙商工業協同組合勤務
阿波和紙伝統産業に関する業務



はやしけん た
林 健太 さん

徳島北部森林組合勤務
地域林業の担い手としての活動および山間部地域の
活性化に関する業務



やち お けい
谷内尾 恵 さん

一般社団法人ネイテック吉野川勤務
過疎地域における地域活動および地域文化を使った
アートとデジタルによる地域おこし業務

櫻庭 私は青森県弘前市の出身で、これまで東京や横浜で生活してきました。しかし、年を重ねるにつれて、競争から少し離れた田舎のゆったりとした生活に魅力を感じるようになりました。妻の姉が吉野川市出身というご縁もあり、こちらに移住して地域おこし協力隊として活動することを決意しました。以前、青森で津軽塗という伝統工芸の販売に携わったことがあり、伝統工芸の魅力を感じていたことも、今回の志望動機の一つです。

市長 津軽塗に携わった経験も持ちなのですね。伝統工芸の視点からの地域おこしにも貢献していただけそうです。最後に、谷内尾さん、お願いします。

谷内尾 私は兵庫県神戸市出身で、大学時代の友人である滑良^{なめら}さん^{なめら}が吉野川市の地域おこし協力隊として着任していたことをきっかけに関心を持ちました。彼女が立ち上げた「アートと地域課題を結びつけるプロジェクト」に共感し、自分も新たな場所で地域に貢献したいと思い、今回応募しました。東

京や神戸を歩き来しながらフリーランスとして活動してきたので、今度は新しい土地で経験を積むことにとても魅力を感じています。

市長 滑良さんの吉野川市での活動に刺激を受け、協力しながら地域に貢献したいと考えられたのですね。フリーランスでの経験を生かして吉野川市で新たに挑戦されることを楽しみにしています。

吉野川市に来てみての印象

市長 それでは、次に吉野川市に来てからの印象や感じたことを教えてください。まずは谷内尾さんからどうぞ。

谷内尾 吉野川市に来てまず驚いたのは、(関西などの)都市部に近いのにまったく異なる風景と文化が広がっていることです。特に方言が非常に独特で、地元のお年寄りの話す言葉を理解できないことも多くあります。でも、それも含めて興味深いですし、地域の方々も親しみやすく接してくれるのが嬉しいのです。また、豊かな自然に

囲まれており、四季折々の風景がとても美しいと感じています。

市長 なるほど、方言や文化の違いに新鮮な驚きがあったんですね。

櫻庭さんはどうですか？

櫻庭 青森出身なので、方言の違いには戸惑いもありますが、徳島の方々が自分たちの方言を誇りに思い、自然に使っているのを見て感心しました。また、自然豊かな生活は心地よく、特に山々の美しい景色には魅了されました。そして、吉野川市には絵画や音楽など、さまざまな趣味を持つ人が多く、そうした文化的な活動が活発で刺激を受けています。

市長 確かに徳島の人々は方言を大切にしていますからね。林さんはどうでしょう？

林 私も方言には少し苦労しましたが、吉野川市の自然や景色には感動しました。毎朝、吉野川沿いをランニングするのが日課なのですが、その美しい風景に心が癒されます。また、地域のイベントなどに積極的に参加している人が多く、市民の方々の意欲に感心して



▲草刈り作業を行う林隊員

います。
市長 皆さん、吉野川市の魅力を感じてくださっているようでうれしいです。

今、取り組んでいること

市長 では、現在取り組んでいることについてもお聞かせください。林さんからお願います。

林 私は現在、徳島北部森林組合で林業に携わっています。具体的

には、チェーンソーを使った木の伐採や、枝打ちの作業などです。林業は体力が必要ですが、その分、やりがいも感じます。今後は、重機の資格も取得して、さらに専門性の高い仕事に挑戦したいと考えています。

市長 林業の現場はまさに自然と向き合う仕事ですね。資格の取得にも意欲的で頼もしいです。櫻庭さん、今取り組んでいることを教えてください。

櫻庭 私は現在、和紙の伝統技術を学んでいます。特に和紙の製造工程に魅力を感じており、その深い技術に触れることで日々新たな発見があります。阿

波和紙は海外からも注目されており、

観光客からも好評をいただいているので、その魅力を伝える活動にも力を入れていきたいと思っています。

市長 和紙は吉野川市の伝統工芸の一



▲和紙原料(雁皮)の処理作業を行う櫻庭隊員

つですから、さらに深く学んでいただけると嬉しいですね。谷内尾さんは今どんな活動をされていますか？

谷内尾 私は現在、空き家をリノベーションし、アーティストが滞在できる場所を作るプロジェクトに携わっています。また、地域を訪れる観光客向けにツアーを企画し、地域との関わりを深める機会を提供しています。地域の方々とアーティストが交流し、互いに刺激を受けることで、文化的な活動を盛り上げていきたいと考えています。

市長 皆さんがそれぞれの分野で



熱心に取り組んでおられて、吉野川市としても心強く思います。

今後、取り組んでいきたいこと

市長 では、今後挑戦したいことや目標についてもお聞かせください。谷内尾さん、お願いします。

谷内尾 現在、山川中学校の授業で美術を教える機会をいただいているのですが、今後は、中学校での美術教育にもっと携わる機会を増やしたいと考えています。美術大学での経験を生かし、子どもたちに美術の楽しさを伝え、地域の文化活動に興味を持ってもらえたらと思っています。また、吉野川市内で美術を学べる環境を整えることにも力を入れたいと考えています。

市長 教育分野への貢献も考えておられるんですね。続いて、櫻庭さん、これからの目標について教えてください。

櫻庭 和紙の技術をさらに磨き、熟練の職人の技を継承していきたいと考えています。また、農業に



▲アーティストの拠点となる空き家リノベーションを行う谷内尾隊員

も関心があり、少しずつ畑仕事も始めていきたいと思っています。J A（徳島県農業協同組合）に勤務する地域おこし協力隊の須藤隊員とも相談しながら、今後の準備を進めているところです。

市長 和紙と農業の両方で地域に貢献しようとする姿勢が素晴らしいですね。最後に、林さん、今後挑戦したいことについて教えてください。

林 まずは重機の資格を取得し、

林業のプロフェッショナルとしてスキルを高め、林業の現場でより大きな役割を担えるようになりたいと考えています。また、林業は一人での作業が多いので、地域の他の方々と協力し、森林資源の活用や環境保全の観点からも貢献できればと思っています。

市長 林業は吉野川市にとっても重要な産業ですから、地域の方々と一緒に発展させていけるといいですね。皆さんそれぞれが素晴らしい目標を持っておられて、吉野川市にとっても大きな力になります。私たちも地域おこし協力隊の皆さんを全力でサポートしていきたいと思っています。

ご存じのとおり、徳島県内で最も多く地域おこし協力隊を受け入れているのが吉野川市で、現在11名が活動しています。

先ほど須藤隊員の話も出ましたが、皆さん同士で横のつながりを築き、お互いに刺激し合ってもらいたいと思います。年に1〜2回は隊員同士の交流の場も設けていきたいと考えています。

各職場でさまざまな苦労があるかと思いますが、地域おこし協力隊の人数が増え、良い循環が生まれつつあります。吉野川市全域に地域おこしの動きが広がり、どの地域でも「何かおもしろいことをやっているな」という活気ある雰囲気を作っていきたいと考えています。

今後皆さんの活躍に期待しています。頑張ってください。

